

## 新学期が休校になり3週間

世界中に猛威を振っている「新型コロナウイルス感染症」の予防対策のため、今年度の始まりから休校が続き、始業式も入学式も延期になりました。せっかく新たな気持ちで頑張ろうと決意をした皆さんも多かったと思います。しかし、この先どうなるのかという不安な気持ちを抱いて春を迎えたのではないのでしょうか。現在、コロナウイルスに関して、テレビを始めSNSなどのメディアにはたくさんの情報が流れています。雑多な情報の渦の中で、不安に駆られる気持ちは分かります。こんな時だからこそ、いつでもスタートを切れる準備をすることが大切です。自分のすべきことを冷静に考え行動に移す。よりよい自分をめざし、自分の力を信じ、コロナウイルス感染の終息を迎えたときに力強いスタートをすることが皆さんに求められています。

そのために今やることは何でしょうか。元メジャーリーガーのイチロー選手は小学校3年生から一日も休まず野球に没頭したそうです。学校から帰るとお父さんと練習、さらに夜はお父さんとバッティングセンターに通い、時速140キロのボールを打つようになり、中学でも毎日200球以上の打ち込みを欠かさなかったそうです。そのイチロー選手が、アメリカメジャーリーグの年間最多安打の新記録を樹立した時にこう言っています。「今、小さな事を多く積み重ねることが、とんでもないところへ行くただ一つの道だと感じています。」つまり、小さな日々の努力が世界的な大記録を生み出したと言っています。さらにイチロー選手は、「僕を天才という人がいますが、僕自身はそう思いません。毎日、血のにじむような練習を繰り返してきたから、今の僕があると思っています。」野球の天才であることを否定し、努力のたまものと言っています。むしろイチロー選手は、努力することの天才であったと言えるのでしょうか。どんな大記録も日々の努力が原点です。

それでは今、皆さんが積み重ねるものは何でしょうか。日々の時間設定かもしれません。学校のある時間帯に合わせて、家庭学習(運動)をすることではないのでしょうか。自分で時間割や内容を決め、主体的に活動をする絶好の機会です。今、社会では皆さんが身に付けるべき力を「主体的・対話的で深い学び」と言われています。まさに主体的に考えるときです。

学習とは読書でもよいと思います。新聞があれば新聞を読む事でも。コラム記事や特集記事など。読み方はじっくり読むことです。筆者の意図していることに対話して読んでみてください。「そうかな、自分はこう思うけどな」というように自分の考えをもち新たな発見を確認しながら読んでみましょう。また、先生方も4月7日配布した課題以外にホームページ上に自主課題を掲載してくれています。この自主課題は「今できること」や「今しかできないこと」など様々な工夫を凝らして作成してくれています。力強いスタートダッシュをきめるために、今できることを計画的に実行し、最大限の努力をしましょう。皆さんは一人一人無限の可能性をもっています。宮本武蔵は「天賦の才能より自己鍛錬が勝まさる」と言っています。豊かな才能をもっていながらも怠なまけてしまう者よりも、毎日繰り返し鍛えた者が勝つということです。

**今、「ピンチをチャンスに変える」ときのなのです**

令和2年4月23日

清瀬第五中学校校長 堀内 雅之